

古代中国の音を打ち鳴らす孔雀模様の法具

こんどうくじゃくもんけい

金銅孔雀文磬

No Image

都合により
画像情報は配信していません

「磬」は古代中国で仏教に用いた打楽器の一種です。わが国では読経の際に打ち鳴らす法具として使われています。金銅製で両面に蓮華の撞座を中心として、左右に孔雀が鑄出されています。無銘ですが南北朝時代の作品と考えられています。大きさは、総高 12.1cm、肩幅 16.5cm、絃 18.8cm あります。

県指定文化財：有形文化財（工芸品）

指定年月日：昭和 35 年 6 月 3 日

所在地：木更津市請西

所有者：法人

員数：1 面

公開・非公開の別：非公開
